

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S1	施策名	Nーバスの運行の見直し
担当部課	くらし文化部安心安全課	関係部課	企画政策課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 第2次長久手市地域公共交通網形成計画
施策開始の背景、経緯等		令和3年4月にルート再編を行う。

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） Nーバスについては、無料乗車数が全体の7割を超えており、市の財政負担が年々多くなっているため、受益者負担の考え方から適正な費用負担を求める料金改定を行うことを検討する。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） Nーバス利用者
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） Nーバスについて、受益者負担の考え方から適正な費用負担を求めること、乗り継ぎ環境の改善、商業施設や病院への乗り入れ増加等を検討する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①										Nーバス運行の見直し														
	R4年度 (2022)					R5年度 (2023)					R6年度 (2024)					中期 (おおよそ3年後)					長期 (おおよそ5年後)				
	成果・実績					成果・目標					成果・目標					成果・目標					成果・目標				
	利用者実態調査を実施。					利用者実態調査を実施。					利用者実態調査を実施。					利用者実態調査を実施。Nーバス再編の検証実施。					利用者実態調査を実施。Nーバス再編を検討。				
	費用・実績 (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)				
	巡回バス運行業務負担金		99,177千円			巡回バス運行業務負担金		107,470千円			巡回バス運行業務負担金		107,470千円			巡回バス運行業務負担金		107,470千円			巡回バス運行業務負担金		107,470千円		
	Nーバス利用実態把握業務委託		300千円			Nーバス利用実態把握業務委託		400千円																	
	市民参加数・実績					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み				
	(延べ) 0 人					(延べ) 0 人					(延べ) 0 人					(延べ) 100 人					(延べ) 100 人				

目標・成果推移等②	施策に係る取組②										料金体系の見直し														
	R4年度 (2022)					R5年度 (2023)					R6年度 (2024)					中期 (おおよそ3年後)					長期 (おおよそ5年後)				
	成果・実績					成果・目標					成果・目標					成果・目標					成果・目標				
	令和4年4月1日改定を実施。					料金体系の見直し状況の精査。					料金体系の見直し状況の精査。					料金体系の検討。					料金体系の検討。				
	費用・実績 (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)					費用・見込み (細々節名) (金額)				
	特になし。					特になし。					特になし。					特になし。					特になし。				
	市民参加数・実績					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み					市民参加数・見込み				
	(延べ) 0 人					(延べ) 0 人					(延べ) 0 人					(延べ) 0 人					(延べ) 0 人				

活動状況	活動エピソード										(活動のエピソード、コメント、特記事項など)									
	活動エピソード										Nーバスの運行について、平日及び休日に全乗降調査を行った。企画政策課が市民4,000人を対象に「長久手市の公共交通に関する市民アンケート調査」を行った。									

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) フリーパス券、回数券の周知をし、Nーバスの利用者を増加させる。
	評価・課題	(進捗状況や課題など) Nーバス再編に向け、引き続き乗降調査を実施することで利用者の実態を把握する。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 収支率について、令和3年度実績は約3%であったが、令和4年4月1日料金体系の見直しに伴い、約7%程度となった。
	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和3年4月1日のルート再編、令和4年4月1日料金体系の見直し、アンケート結果等の状況を確認し、次回再編に向けて情報蓄積を行う必要がある。